

■活動状況

2021年度事業報告

2021年度は、東京オリンピックの開催に伴って8～9月に新型コロナの急激な拡大により緊急事態宣言や重点措置の発出を見ましたが、10月に入ってワクチン接種の拡大に伴って感染者数が減少したものの、1月以降新たな変異型の出現によって急増し、まん延防止等重点措置の適用によって社会・経済活動が制限される事態が繰り返された。政治面では、本年2月24日のロシアのウクライナ侵攻が始まり、その影響は世界規模のエネルギー供給の混乱や経済制裁による物価の高騰など、世界経済に大きなダメージを与える事態になった。また、コロナ禍でリモートワーク等が増え、半導体部品の生産が需要に追いつかない状況が起こり、これら製品の納期が大幅に遅れ経済活動に支障となった。国や地方自治体では、コロナ禍の長期化により企業の倒産や廃業を防ぐため、資金繰り支援や雇用調整助成金の拡充、支援金等の給付が進められた。

当法人の2021年度の活動を振り返ってみると、EA21の地域事務局「環境未来」は地道な活動を進めているが、実施企業は減少傾向にあり、根本的な課題を抱えている。他の活動は、昨年に続きコロナ禍で活動も停滞気味で、活動は制約を受け続けて、インターンシップ受入企業の登録は、前年度比で若干の落ち込みになった。ビジネスマッチング事業は、6月30日～7月2日に製造技術イノベーション展と中小企業テクノフェアが同時開催され、コロナ禍で入場者数はコロナ前の1/3に減少した。NPO法人北九州テクノサポート(KTS)はこれら悪条件の中で、ベテランの引退など課題山積であったが、何とか力を合せて対応した。企業訪問もコロナ禍では難しかったが、KTS全体としての力を高める活動が進んだ。KTSは、多様なキャリアを持った技術者集団であり、IT活用支援グループが整備したオンライン会議ツール Teamsなどを駆使しながら、北九州市が推進するSDGsの勉強会やKTSの会員相互情報交換会等で新技術の習得や相互理解を深めて、地域産業の振興と活力あるまちづくりへの貢献を目指し、以下の活動を展開した。

<2021年度の主な活動>

<関係先>

● 北九州地域産業人材育成事業 (地域連携型インターンシップ支援活動)	北九州地域産業人材育成フォーラム (公財)北九州活性化協議会
● 中小企業テクノフェア in 九州 2021 販路開拓事業	(公財)北九州観光コンベンション協会
● 北九州商工会議所アドバイザー活動の推進	北九州商工会議所
● 製品開発・業務改善指導など	地域の中小企業
● 広報誌(夏号/冬号)の発行	県、市、公共・学術機関、賛助会員、協賛会員
● 「第4次産業革命」勉強会 5回開催	NPO-KTS、地元企業、北九州市関係者他
● 「SDGs 勉強会」3回開催	NPO-KTS、地元企業、北九州市関係者他
● エコアクション 21 認証・登録事業の推進	(一財)持続性推進機構 EA21 中央事務局
● 会員相互情報交換会(オンライン)1回	NPO-KTS 会員、地元企業
● 新型コロナ感染防止のためテレワーク推進	NPO-KTS 会員、関係先
● よろず相談 5件	地域の中小企業